

令和5年度事業報告

1 協議会全体としての取組み

(1) 農林水産省の補助事業を活用した活動

国産シルクの新たな市場開拓を図るため、令和4年度制定の「有機繭の生産及び表示に係るガイドライン」に続き、令和5年度は「有機生糸の生産及び表示に係るガイドライン」を策定したほか、有機繭を利用した化粧品、食品の試作品の商品性調査を実施した。

また、令和4年度に実施したシルクの天然繊維としての優れた特性を消費者にわかりやすく情報提供する検討会の提言を踏まえ、シルクの衣類を素肌に着用した時の良さを科学的に分析し、その結果をシルク関係博物館等で展示した。

さらに、純国産シルクや有機シルクなどの高い付加価値が期待できる国産繭・生糸について、簡易なトレーサビリティシステムの活用を検討した。

新規養蚕農家の参考となるよう養蚕に関する動画を作成し、HPで公表した。

2 各分科会における取組み

(1) PR分科会

全国シルクビジネス協議会での情報発信を随時HPにて行った。HPでは「PRODUCTS」「ONLINE-COMMUNITY」のページを新たに設け、相応のコンテンツを閲覧できるように整えた。また、養蚕の情報発信のための動画作成においては、取材先や撮影隊の紹介、サポートを行った。

(2) 蚕糸分科会

農林水産省と協力して若手養蚕農家との意見・情報交換会を開催し岩手県から京都府まで1府9県12名の参加を得て、若手養蚕農家の取組み事例や課題を共有した。

1

また、蚕糸関係博物館と連携して、夏休みに子供たちにカイコを配布し、カイコの飼育を体験してもらう「カイコを育てよう！2023」の取組みを行った（2年目）

(3) 繊維分科会

シルクの機能調査検討会でシルクを含む5素材の着用時比較試験を行い衣服内湿度変化からシルクが良いと示す事が出来た。

伊と幸様保有の生糸松岡姫を使った横編み糸の開発と商品販売を行った。

糸名 姫+ ジュピターショップチャンネルで商品販売

<https://www.shopch.jp/pc/product/prodlist/brand?brandCode=15919>

同様番手違いの群馬県なつこ生糸を使った商品販売が本格化してきた。

(4) 新機能シルク分科会

超極細・高染色性繭糸生産系統などの遺伝子組換え品種の飼育範囲を稚蚕に広げることを狙い、超極細／高染色性、アザミグリーン、F90それぞれの遺伝子組換えカイコについて、隔離飼育試験のための第一種使用規程の承認申請を行い、令和5年7月13日に大臣承認（農林水産大臣、環境大臣）を得た。これを受けて晩秋蚕期に農研機構生物研と群馬県蚕糸技術センターにおいて隔離飼育試験を行い、一般飼育のための第一種使用規程作成のためのデータを取得した。

(5) 新用途分科会

繊維学会との共催シンポジウム「シルク研究の潮流と多用途展開」をオンラインにて開催した。講演会では、全国シルクビジネス協議会の紹介及び新用途分科会の活動内容を紹介し、会員増強を図った。詳細は下記の通り。

日時：2023年4月28日 13:00～16:30

場所：オンライン開催

講演内容：下記の通り。

「医用材料としてのシルク利用研究の現状と展望」

信州大学繊維学部 玉田 靖

2

「人工タンパク質シルクエラスチンの医用材料への開発」

三洋化成工業株式会社 バイオ・メディカル事業本部

川端 慎吾

「ニューシルクロードプロジェクト」

東京農業大学 長島 孝行

※パネル討論

司会：中澤 靖元